

平成29年度 自律改革取組一覧

No.	事項名	自律改革取組前の状況 (現状・課題)	検討・分析の進め方	取組の内容及び成果 今後の方向性
1	SNS等を活用した情報発信	公式SNSに加え、イベントごとのアカウントがあるが、一体として管理を行っておらず、アカウント同士の連携(リツイート、シェア等)ができていないため、効果的な情報発信ができていなかった。	SNSの利用割合が高い若手職員による検討会(PT)を設置し、局のSNSに求めるものは何か、率直な意見を聞き、あるべき姿を整理し、それに向けて何ができるのかについて議論を行った。	パラスポーツのファンサイト「TEAM BEYOND」において、インフルエンサーを活用した情報発信を行った。 PTで出た意見について、できるところから着手していくとともに、今後、検討した活用案をもとに、より効果的な情報発信を行っていく。 インフルエンサーを活用した情報発信については、各事業における活用を推進していく。
2	組織委員会との連携	都、組織委員会、関係団体がそれぞれ実施する広報について、連携が不十分な点があった。	組織委員会等と連携した広報戦略を策定し、局内においても定期的な広報連絡協議会を開催する。	広報戦略及び広報連絡協議会を活用し、組織委員会や局内等関係部署との連携を強化し、戦略的な広報を展開していく。
3	局ポータルサイトの活用による情報共有	局ポータルサイトの活用、電子データによる局内情報共有が十分に図られていない。	局内情報共有に向けて検討を実施した。	局ポータルサイトを活用し、プレス資料をはじめとする局内資料の情報共有を行った。今後も局内で共有すべき資料について取組を拡大していく。
4	局内自律改革PTの設置	自律改革の取組を推進していくために、局内自律改革PTを設置	各部における自律改革の旗振り役として、自律改革推進担当を設置し、局全体で自律改革に向けて推進する体制を構築する。	○局内自律改革PTは、年度内に6回開催し、局全体の自律改革の進行管理、情報共有を行った。 ○局内横断的な進行管理報告、情報共有により、気運の向上、取組の推進が図られた。今後も引き続き取り組んでいく。
5	職員参画による自律改革の検討	事業が多分野に渡ることから、各部所間での問題意識の共有を図りづらい状況であった。また部所や職層を超えた局一体の取組、職員の参画を促進する仕組みが必要であった。	○一人一人が「減らす」ことについて考え、「減らす」の良さを発見する、減らす▲(参画)プロジェクトを始動した。 ○全職員アンケート(減らしたいモノ・コトを記載)を実施。アンケート結果を基に、主任級検討会を開催した。	全職員アンケート結果を集約後、モノを減らす、手順を減らす、作業を減らすなどテーマごとにグループを分け、主任級検討会を開催し、今後に向けての取組の検討を行った。今後も職員の参画を促し、取組を推進していく。
6	効率的な会議運営	日々の会議や打合せは、紙資料で行われており、会議準備等の効率化等が図られていない。また、映像等を活用した打合せを実施できていなかった。	会議室の規模、位置、打合せの実績等を考慮して、モニター設置について検討を行った。	会議室・打合せコーナーに計4台のモニターを設置し、ペーパーレス化の推進を図った。映像等を活用した効率的な会議も実施されるようになった。引き続き、効果的な会議運営に取り組んでいく。

7	都庁KA・E・RUタグ運動の推進	職員が日常業務に追われ、ライフ・ワーク・バランスを意識しづらい状況であった。	当局のPRキャラクターを用いたかえるタグを作成するなど、各職場になじみのあるかえるタグを用いて、当該運動をより一層浸透させる。	局内共通の昼休み中・定時退庁日のタグを作成した。各職員が自席に掲示し、状況・予定の「見える化」を行い、周囲の理解を促し、柔軟で多様な働き方の実現及び「残業ゼロ」への職場風土が醸成された。今後もライフ・ワーク・バランスを推進していく。
8	補助金等の支出状況の情報公開	ホームページには補助金等の支出状況が公表されている資料がなく、どのようなような補助金があり、いくら支出しているかがわかりにくかった。	都民にわかりやすい情報となるよう検討を行うとともに、関係部署等と調整を行った。	平成27・28年度における補助金の支出状況等について補助事業名、根拠規程、決算額、支出先を局情報公開ポータルサイトに掲載した。今後も引き続き取り組んでいく。
9	ホームページの閲覧性向上	東京2020大会に関連して、庁内各局が行っている事業について、当局からの情報発信が効果的にできていなかった。	東京2020大会に関連して庁内各局が行っている事業として、何が該当するか、各局へ調査、検討した。	庁内各局が実施している東京2020大会関連事業について、当局HPに新規ページをつくり情報発信を行った。